

「3. 11から考える地理」

皆さんこんにちは。いかがお過ごしでしょうか？学校での授業がなく、自分で過ごし方を考え、選択していかななくてはならないこの非常事態ですが、むしろ今まで考えることのなかったことに目を向けるチャンスでもあります。今日はそのきっかけを一つ提供します。

去る3月11日。東日本大震災から9回目の3月11日でしたが、この度は、コロナウイルス関連の報道も多く、個人的に埋もれてしまったような感覚がありました。そこで今回は、東日本大震災に関連するニュースから地理を考えてみようと思います。

次のURLにある記事を読んで、以下の問いに答えなさい。なお、わからない場合は教科書・資料集などを用いて調べなさい。

『復興という名の災害だ』 小さな街が直面する人口激減、孤独死…東日本大震災「9年後の現実」
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200311-00010000-kantele-soci>

問1

2011年に発生した、東日本大震災は津波を伴い、今なお爪痕を残す大きな災害となった。なぜ地震により津波が起きるのか。そのメカニズムを阪神淡路大震災との震源の位置の違いに着目して、答えなさい。

問2

地震に伴う津波は日本のみならず、世界中で起こる災害である。2004年に大きな津波を引き起こした地震の名称と、震源となった国名を答えなさい。

問3

津波は沿岸部で起こりやすい災害の一つであるが、似たような被害をもたらすものとして「高潮」という現象がある。津波が主に地震によって引き起こされるのに対して、「高潮」は何によって引き起こされるか、答えなさい。

問4

この記事のタイトルにもある「復興という名の災害」には、阿部さんのどのような気持ちが込められているか？記事の内容を踏まえて答えなさい。

問5

あなたは、「復興」という言葉を誰にとって、どのような状況になることだと捉えますか？記事中の行政の判断や阿部さんの思いなどを踏まえながら、自分の意見を述べなさい。

以上の問いについて、模試ノート1ページ使ってまとめてください（提出：登校後すぐを予定）